

第3章

様々な世代を対象にしたアクティビティ

高齢者って頑固で困るね。

家には高齢者がいないから、高齢者のことなんて考えたことがないわ。

これからの「超高齢社会」は少ない若者で経済も介護も支える大変な社会だ。

歳をとったら体も動かないし、家でおとなしくしていてくればいいのに。



本章（3章）のアクティビティをとおして

高齢者だからといって支えられているばかりじゃないだね。みんなで支え合う社会って素敵だね。

いつかは、みんな高齢者になるよね。誰もが、生き生きと暮らせるような社会であって欲しいと感じたよ。

みんなのためにがんばろうとする気持ちは、高齢者も同じなんだね。「何もしなくていいよ。」って思っていた自分が間違っていたよ。



すべての世代が共に支え合う豊かな社会へ



おばあちゃんの気持ちを考えよう



ねらい

家族や社会の中で役割をもって生活することは高齢者の生きがいとなり、みんなのために自分の役割を果たそうとする姿勢や考えを尊重していくことの大切さについて考えます。

◇時間◇	40分	◇人数◇	1グループ2人～6人	◇対象◇	成人
◇準備物◇	ワークシート1 ワークシート2 資料				

展開


- 身近にいる高齢者が夢中になっているものについて発表します。
例)・ゴルフ ・交通ボランティア ・詩吟 等
- ワークシート1の「家族の会話」を読み、この時のおばあちゃんの気持ちについて考えます。
- 2の「家族の会話」の後、どうしておばあちゃんとはびきりの笑顔をしたのか、ワークシート2を使用して考えます。
例)・きっと家族みんなが喜んでくれると思ったから。
・自慢の野菜を収穫できたから。
・おいしい油炒めを調理できそうだから。
・しっかり体を動かすことができたから。
- 今回の家族の会話から、夫婦はどうすればよかったのか、その理由を含めて考え、グループで話し合います。
例)・おばあちゃんの考えを聞く。
⇒おばあちゃんの意味を尊重したいから。
・気をつけて行ってくるように伝える。
⇒おばあちゃんの意味を大切にしたいから。
・一緒に行く。
⇒おばあちゃんの意味を尊重するとともに、おばあちゃんの安全も気遣いたいから。
- 資料を読み、活動のふりかえりをします。

ワークシート2

【おばあちゃんの気持ちを考えてみよう】

しばらくたつと、おばあちゃんが汗をかきながらもすっきりした表情で畑から帰ってきました。そして、食卓にとれ立ての野菜をきれいに並べながら、家族に「また、とってきてあげるからね。」と、とびきりの笑顔で話しかけました。

【どうしてとびきりの笑顔をしていたのでしょうか】

①		③
②		④

【おばあちゃんの気持ちを考えてみると】

どうすればよかったでしょう?	そのように考えた訳



ファシリテーターの言葉かけ例



展開1 みなさんの身近にいる高齢者の方で何かに夢中に取り組んでいる方はいませんか。ぜひ、思い起こしてみ、どのようなことに取り組んでいるか教えてください。

(全体に尋ね、代表の数人の方に発表してもらう。)

※発表の後には「素敵な活動をしているんですね。」等コメントを付け加える。

展開2 それではワークシート1を見てください。これはある家族の会話です。読んでみましょう。

この時のおばあちゃんはどのような気持ちだったと思いますか。グループで話し合ってみましょう。

展開3 ワークシート2を見てください。

先ほどの会話の後、しばらくたつと、おばあちゃんは汗をかきながらもすっきりした表情で家に帰ってきました。そして、食卓にとれ立ての野菜をきれいに並べ、家族みんなに「また、とってきてあげるからね。」と、とびきりの笑顔で話しかけました。

それでは、みなさんに考えていただきます。どうしておばあちゃんとはとびきりの笑顔をしながら家族みんなに話しかけたのでしょうか。みなさんの考えをワークシート2に記入しましょう。ただし、ワークシートの欄を全て埋める必要はありません。

それではグループで話し合ってみましょう。

※グループの代表に全体で発表してもらう。

展開4 おばあちゃんの考えに対するみなさんの考えは、様々にあることがわかりましたね。では、おばあちゃんの気持ちを考えてみると、今回の夫婦はどうすればよかったと思いますか。理由も含めてワークシート2の下の段にみなさんの考えを記入してください。

それではグループで発表し合ひましょう。

みなさんのグループではどのような意見が出てきましたか。それではグループごとに話し合った内容を発表し合いながら考えを共有していきましょう。

展開5 今回は畑仕事に熱心に取り組むおばあちゃんについてみなさんに考えていただきました。このおばあちゃん以外にも様々なことに熱心に取り組んでいる高齢者の方がいるようです。ぜひ、資料を読んでみましょう。

今回の活動をとおして、みなさんは高齢者の立場を尊重するとはどうすることだと思いましたか。それでは今日の感想をグループごとに話し合ひましょう。

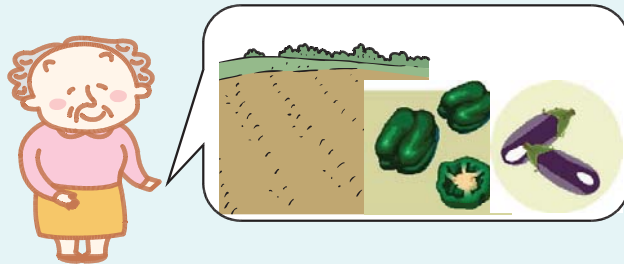
今回、みなさんと考えたワークシート1のおばあちゃんや資料の高齢者の人たちにはある共通点がありました。それは生きがいや目標をもつという点かなと思います。これらもヒントにしながら、今日の気付きを、これからの生活の中に活かしていけると素晴らしいですね。

【家族の会話】

おばあちゃんの畑は歩いて15分ほどのところにあります。
おばあちゃん（祖母）は、朝、部屋から起きて来ると突然、次のようなことを言い始めました。

「今日は、朝御飯を食べたら『なす』と『ピーマン』をとりに畑に行ってくるから。みんなの大好物の油炒めを食べさせてあげるからね。」

これを聞いた夫婦は、慌てて次の会話を始めました。



【妻】： おばあちゃん、好き勝手に畑に行かないでください。夏の暑いときなので熱中症にでもなったら大変ですし。隣のおじいちゃんは先日、歩いているときに転んで骨折してしまったそうですよ。そうなったらみんなに迷惑ですから。お父さんはどう思います？

【夫】： （「困ったなあ。どうしよう。」つぶやく。） 確かにおばあちゃんが一人で出かけて行って転んだり、事故に遭ったりでもしたら大変だなあ。おばあちゃん、今日はゆっくり好きなテレビでも見て過ごそうよ。家にはエアコンもあるし。そうしてよ。

【妻】： 後で私がとってきますから。

【夫】： おばあちゃん、今日はゆっくり家で過ごそう。

【祖母】： （しばらく夫婦の会話を黙って聞きながら）でも・・・。

【祖母】： （おばあちゃんは黙って畑に出かけて行ってしまいました。）

【ある事例より】

75歳で働ける喜び (Aさん 75歳)

眼科にて白内障の手術を受けて6ヶ月後に後期高齢者の仲間入りとなりました。この人生の節目に対し、何か記念すべきことをしたいと思い、介護職員研修に挑戦することにしました。

研修の内容は130時間の講義、3日間の実習、そしてそれらの内容に関するペーパーテスト。ハラハラドキドキの毎日でしたが、見事にすべてをクリアして修了証を手にすることができました。また、運よく近くの老人施設に職を見つけることができ、現在、週3回3時間、リハビリ体操の介助などを行っています。

夫と2人で認知症の叔母を介護した経験をもとに、体操の介助中も会話を絶やさないよう心掛けていますが、そうすると、回数を重ねるごとに親近感もわき、私自身も元気をいただいていることに気付いてきました。

そして、何よりも75歳になって仕事ができることに対し、とてもうれしさを感じます。夫も私が働くのを喜んでくれ、生活の中にハリが出てきました。孫たちからも、「すごいね。」と褒められています。

子どもたちの笑顔が見たい (Bさん 74歳)

「おばあちゃん、これちょうだい。」

平日の午後3時を回ると、元気な声に包まれます。この空間にいられる幸せを今、実感しています。

私の母親は昭和の初めから美容室を営んでいました。戦後、その店先で父親が文房具と駄菓子売り始め、現在の「駄菓子屋文具店」につながっています。

今から30年くらい前は閉店時刻の午後8時近くまで子どもたちでごった返していました。店の前の道路は歩行者天国でメンコ遊びやヨーヨーが大ブームでした。

しかし、街中の子どもたちの数は少しずつ減っていきました。当時のにぎわいは今はありません。しかし、うれしいことがあります。3世代にわたって通ってくれたり、帰省の際に立ち寄ってくれたりする人がいるのです。

以前のように朝早くから夜遅くまで働くことは難しくなりましたが、子どもたちの笑顔と会話からはたくさんの元気をもらい、毎日の充実感につながっています。

昭和の面影が残る店内で、今日も笑顔で子どもたちを待ちたいと思います。

1

2

3

様々な世代を
対象にした
アクティビティ

参考資料



振り込め詐欺？そのとき・・・



ねらい

高齢者の人権問題を理解するとともに、その問題解決には私たちが高齢者と温かい社会をつくっていくことが大切であることに気付きます。

◇時間◇	50分	◇人数◇	2人～	◇対象◇	成人
◇準備物◇	振り込め詐欺に関わるエピソード ワークシート 資料				

展開

- 1 エピソードを聞きます。
- 2 エピソードの2人の会話から、どのようなことを感じたかグループで話し合います。
例)・立場の弱い高齢者を狙うなんてひどい。
 - ・おじいちゃんが悪いわけではないのに、かわいそう。
 - ・自分の家にも高齢者がいるので心配だ。
- 3 エピソードの最後、Bさんは「・・・」と何かこの後にAさんに伝えたそうにしています。BさんはどのようなことをAさんに伝えたかったのか、このときのBさんの気持ちを考えます。
例)・おじいちゃんは被害者なんだし、少し言い過ぎじゃないの。
 - ・おじいちゃんに対して、もう少し別の言い方もあるのでは。
 - ・自分の家でも気をつけないと。
- 4 資料(本書P42「参考資料」:資料1)をもとに高齢者の人権問題について知り、私たちが高齢者の人権が守られた豊かな社会をつくるために、どのようなことを心がけることが大切なのか、グループで話し合います。
例)・高齢者とのコミュニケーションを大切にする。
 - ・高齢者の立場になって、様々なことを考えていくようにする。
 - ・高齢者を敬う心を忘れないようにする。
 - ・私たちみんなが高齢者を支えていくような社会にしていく。
- 5 グループで出た意見を発表し合い、全体で意見を共有します。
- 6 活動のふりかえりをします。



ファシリテーターの言葉かけ例



展開1 これから、高齢者の人権問題について考えていきます。まず、私があるエピソードが載っている資料を配付します。みなさんは、エピソードを聞いて何か気になる点はないか、また、自分ならば、このような場面でどのようにするかといったことを考えながら、エピソードを聞いてください。

展開2 エピソードを聞いてどうでしたか。まず最初に、このエピソードの会話を聞いてどのようなことを感じたか、グループのメンバーと自由に話をしてみてください。（意見が出ないようであれば、会話の中で気になった言葉を挙げてもらいながら、そのことをもとに話し合いを進めてもらうようにする。）

展開3 エピソードの会話の最後、Bさんは「・・・」と何かAさんに伝えたそうにしています。このときにBさんはAさんにどのようなことを伝えようとしていたのでしょうか。自分自身がBさんだったらと考え、このときのBさんの気持ちを考えてみてください。（時間があれば、どのような意見が出されたか何人かに代表して発表してもらう。）
※Aさんの言動に肯定的な意見も出される場合が予想されますが、様々な意見があるということで受け入れられるように言葉かけを行う。

展開4 ここで、高齢者の人権問題に関わる資料を紹介します。（本書P42「参考資料」：資料1の説明）調査結果にあるように、高齢者に関する事柄で人権上問題があると思われることとして、1番に「高齢者を狙（ねら）って詐欺等を行うこと」が挙げられています。また、2番目には「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」3番目と4番目には「高齢者に対する虐待の問題」について挙げられています。今回のエピソード、そして、今、見ていただいた資料などから、これから先、私たちが高齢者の人権が守られた豊かな社会を築いていくためには、どのようなことを心がけることが大切だと思いますか。また、どのようなことを自分自身で心がけていきたいと思いませんか。グループで話し合ってみてください。

展開5 家族であったり地域住民であったり、みなさんそれぞれの立場で、高齢者の人権の守られた豊かな社会を築いていくためにどのようなことを心がけていきたいか意見を出してもらいました。ここでは、それぞれのグループでどのような意見が出たか発表してもらい全体で意見の共有化を図りたいと思います。（各グループの代表者に、どのような意見がグループで出たか発表してもらう。）

展開6 本日は、ありがとうございました。最後に、この時間のふりかえりをしましょう。今日のアクティビティをとおして、家族や近所の高齢者を思い浮かべながら、自分自身でこれからできそうだったこと、してみたいと思うことなどを書いてみてください。書けましたら、グループの中で感想や意見を発表し合ひましょう。（時間があれば何人かに発表してもらう。）

日本はこれからますます高齢化が進んでいきます。私も含め、ここにいる皆さんもいつかは、高齢者と呼ばれる立場になります。今、日本が抱えている問題は決して人ごとではなく、将来の自分の問題でもあるのです。高齢者の人権が守られ、より豊かな社会をつくっていくために、私たちが今できることをしていくことが大切なのではないでしょうか。

1

2

3

様々な世代を対象にした
アクティビティ

参考資料

～エピソード～

Aさんは、50歳の専業主婦で夫とその父親と一緒に暮らし、家を離れて大学に通う20歳の息子がいます。

先日、同居している80歳になる義理の父が振り込め詐欺に遭いそうになってしまいました。

隣のBさんが回覧板をもって来たときのことで...

A： 全く、おじいちゃんには困っちゃうわよ。1週間前のことなんだけど、振り込め詐欺に遭ってもう少しでお金を振り込みそうになったのよ。

B： え～！？それどういうこと、詳しく教えて！

A： いつも昼間はおじいちゃん一人で過ごしているでしょ。そこに、大学に通っている息子の名前で電話がかかってきて、泣きながらバイクで人をひいてしまって重体にさせてしまったというの。弁護士にかわるからと言われて、その弁護士がとりあえず「150万あれば示談にもっていけるのだけど。」と言ったそうなの。おじいちゃん慌てて銀行にお金を振り込みに出かけようとしたのよ。

そこに、たまたま私が帰ってきて、出かけようとするおじいちゃんから事情を聞いたから、玄関口でおじいちゃんを止めることができたの。

未遂で終わったからよかったけど... 全く、おじいちゃんには困っちゃうわよ。

B： それは大変だったわね...

A： 本当に、あれだけ振り込め詐欺のこととかニュースでやっているのに、だまされちゃうなんてね...

(そこに、おじいちゃんが通りかかる。元気がなさそうな表情である。)

B： あら、おじいちゃんいたのね...。こんな話をしていたらおじいちゃん気にするんじゃないの？

A： いいのよ。少し気にしてもらわないと。身内が振り込め詐欺に遭ったらなんて考えたら恥ずかしくて恥ずかしくて...。子どもじゃないんだから、ちょっと考えれば判断できることでしょ。

危なくてしょうがないから、「昼間は電話が鳴っても出ないでね」って、おじいちゃんに言ってあるの。「お客さんが来ても対応しちゃだめよ」とも言ったわ。

最近、変なセールスとかもあるでしょ...

B： ...

ワークシート

- 1 Aさん、Bさんの会話を読んでどのようなことを感じましたか？
- 2 エピソードの最後、Bさんは「・・・」と何かAさんに伝えたそうです。
BさんはどのようなことをAさんに伝えたかったのか、このときのBさんの気持ちを考えてみましょう。

- 3 私たちが高齢者の人権が守られた豊かな社会を築いていくためには、どのようなことを心がけることが大切だと考えますか。また、どのようなことを自分自身でこれから心がけていきたいと思いませんか。



1

2

3

様々な世代を
対象にした
アクティビティ

参考資料

おじいさんの立場になって

ねらい 高齢者が生活の中で感じている不便さを知り、疑似体験をとおして気持ちを理解し、高齢者の立場になって接することの大切さを考えます。

◇時間◇	60分	◇人数◇	1グループ4人～6人	◇対象◇	成人
◇準備物◇	エピソード（ワークシート） 軍手				

展開

- 1 街の中で困っている高齢者を見かけた経験について、グループで話し合います。
- 2 エピソード（ワークシート）を読み、グループごとに高齢者が感じている不便さを疑似体験（軍手をはめてお金を取り出す動作）しながら、ロールプレイをします。
- 3 次のことについて話し合います。
 - (1) 「すみません。すみません。」と謝るおじいさんは、どんな気持ちだったでしょう。
例)・周囲の乗客に迷惑をかけてしまい、申し訳ない。
 - ・今まで簡単にできていたことができなくなり、やるせない。
 - ・降りる前からお金を準備しておけばよかった。
 - ・最後に降りればよかった。
 - (2) あなたがエピソードの中の私だったら、謝るおじいさんを見てどうしますか。
例)・おじいさんに「大丈夫ですよ。」と声をかけたい。
 - ・周りの乗客に「おじいさんの立場になって考えましょう。」と言いたい。
 - ・おじいさんに声をかけ、自分に手伝えることがあったら手伝いたい。
- 4 資料の説明を聞きます。
 - 資料1 内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」（平成22年度）から
 - 資料2 栃木県「人権に関する県民意識調査」（平成22年度）から
- 5 活動のふりかえりをします。



ファシリテーターの言葉かけ例



展開1 みなさんは今までに、地域の中で高齢者の方が困っている場面を見かけたことはありませんか。少し時間をとりますので、グループの中で話し合ってみてください。

(数名の人に発表してもらおう。)

ありがとうございます。今日は「高齢者が感じている不便さ」について、一緒に考えていきたいと思います。

展開2 今からあるエピソードを読みます。このエピソードについて、後でグループで話し合ってもらいますので、よく聞いてください。それでは読みます。

バスの中のおじいさんについて考えましょう。バスの中のおじいさんはどんな不便さを感じていたのでしょうか。おじいさんの感じた不便さを実際に体験してみましよう。

これからエピソードについて、グループ内で、疑似体験をしながらロールプレイをします。高齢者役の方は、軍手をはめてお金を取り出す動作をしてみてください。自分の財布を使ってもいいですし、袋から小物を取り出す動作をしてもよいです。それ以外の方は、乗客の役をお願いします。順番に高齢者の役割を演技してみてください。そして、どんな不便さを感じ、どんな気持ちになったか、話し合いをしたいと思います。(数名の人に発表してもらおう。)

展開3 「すみません。すみません。」と謝るおじいさんは、どんな気持ちだったでしょうか。話し合ってみてください。

また、あなたが、エピソードの中の私だったら、謝るおじいさんを見てどうしますか。エピソードの下の欄に記入してください。グループで話し合ってください。(数名の人に発表してもらおう。)

展開4 ここで、みなさんに資料を紹介したいと思います。見てください。資料1は、高齢者が地域でどんなところに不便さを感じているか表したグラフです。この調査では、買い物や通院、交通機関の利用について不便さを感じている高齢者の割合が高い結果となっています。バスの中のおじいさんのようなことが私たちの身近で起きているかもしれませんね。

資料2は、高齢者に関する人権について問題だと思うことの意識調査結果です。

展開5 最後に本日のふりかえりをしたいと思います。今までの活動の中で気が付いたことや、感じたことをまとめてみましょう。

各自の考えをグループの中で話し合いましょう。(数名の人に発表してもらおう。)

現在は、4人に1人の方が65歳以上の高齢者です。大半の方が健康で生き生きと生活していますが、なかには不便さを感じ、周りに気を遣いながら生活している高齢者の方もいます。そんな方々の立場を考えて生活できるとよいですね。

1

2

3

様々な世代を対象にした
アクティビティ

参考資料

【エピソード】

通勤通学の乗客で混雑している、バスの中でのある朝の出来事です。
私は運転手のすぐ後ろの席に座っていました。バスは、県庁前のバス停で止まりました。

運 転 手：「県庁前～。県庁前です。」

大勢の乗客が、一斉に席から立ち上がり並び始めました。すると、私のすぐ横に座っていたおじいさんが、座席や手すりをつかみながらゆっくりと立ち上がり、列の先頭に立つと、料金表をじっと見ていました。しばらくして、運転手に整理券を見せながら尋ねます。

おじいさん：「えーと、ここで降りたいのですが、いくらお支払いすればいいんですか。」

運 転 手：「ああ、180円ですね。」

おじいさん：「分かりました。」

おじいさんは、財布から180円を取り出そうとしますが、なかなか取り出せず、時間がかかっていました。バスから降りようとしていた乗客は、はじめ黙っていましたが、おじいさんの様子を見て、ひそひそ話を始めました。

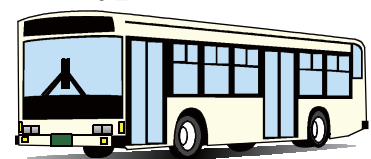
乗 客 A：「早くできないんですかね。」

乗 客 B：「そんなの、はじめから準備しておけばいいじゃないですか。」

乗 客 C：「私たちの後から、降りればよかったのに。」

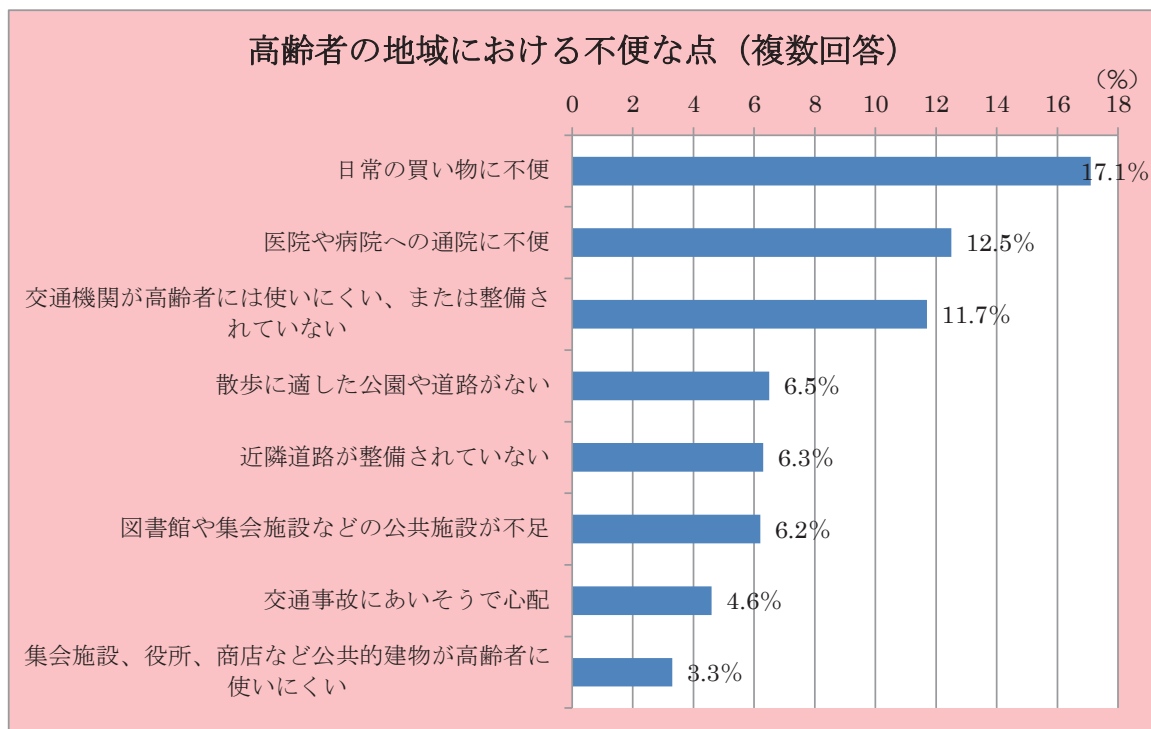
(そんな声が聞こえたのか。おじいさんは謝ります。)

おじいさん：「すみません。すみません。」



○ あなたが、エピソードの中の私だったら、謝るおじいさんを見てどうしますか。

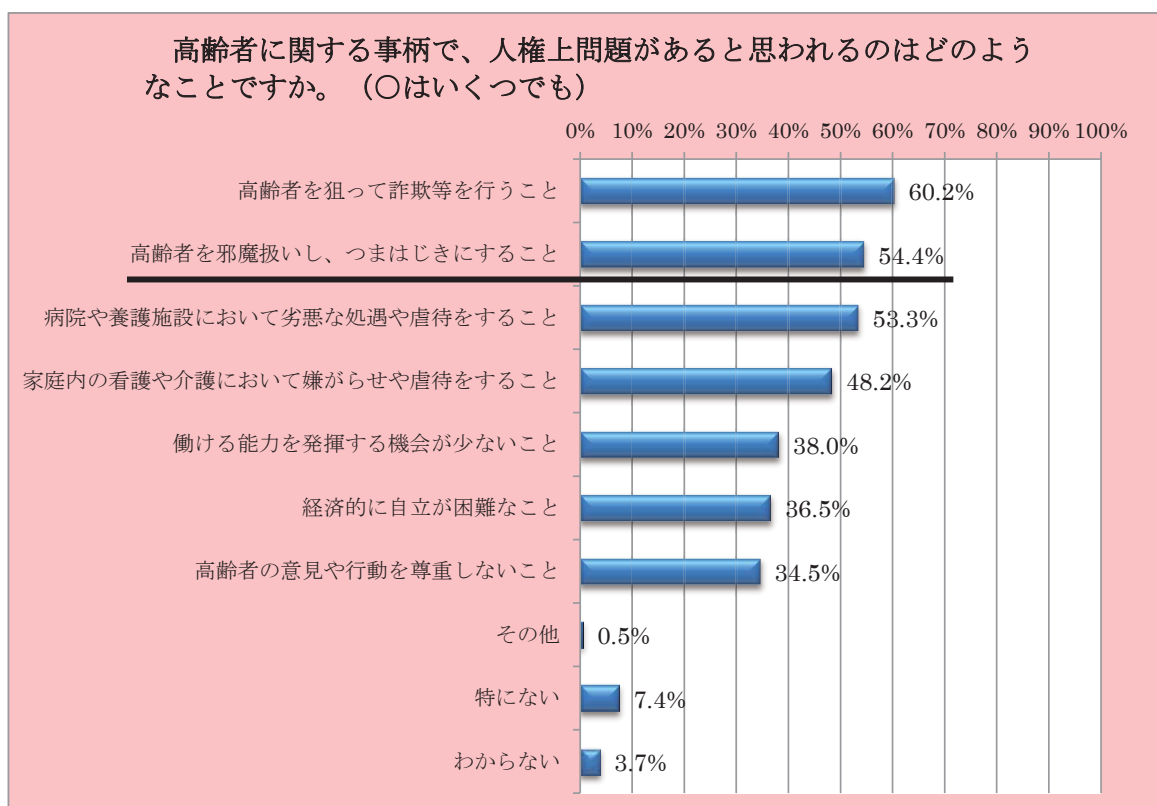
資料1



出典：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」（平成 22 年度）

（注）対象は、全国 60 歳以上の男女

資料2



出典：栃木県「人権に関する県民意識調査」（平成 22 年度）

1

2

3
様々な世代を
対象にした
アクティビティ

参考資料



あなたのジャッジは？



ねらい

人によって価値観は多様であることに気付くとともに、高齢者に関するテーマについて一人一人の意見を尊重しながら話し合うことで、高齢者の生きがいや幸せ、人権を尊重することの大切さについて考えます。

◇時間◇	60分	◇人数◇	1グループ4～5人 ※2グループ以上が望ましい	◇対象◇	成人
◇準備物◇	おしゃべりの種カード 模造紙 マジック				

展開

1 4～5人ごとのグループをつくり、「おしゃべりの種」カードをグループに配付します。カードは裏返して机の中央に並べます。

※時間によって、カードの数を調整します。

2 司会者を決めます。司会者は裏返したカードを1枚引き、そのカードを読み上げます。

3 司会者が読み上げた事柄について、グループで話し合います。各自、自分はどちらの考えを選択するか意見を出し合い、その内容をもとに最終的に司会者がどちらかを決定します。

4 1枚目のカードが終わったら、時計回りで司会者を交代し、2枚目のカードを引き、3と同様にします。

※カードがなくなるまで同じことを繰り返し、結果を模造紙にまとめます。それをもとに、グループごとに発表します。


5 他のグループの発表をもとに、気付いたことや感じたことをグループで話し合います。

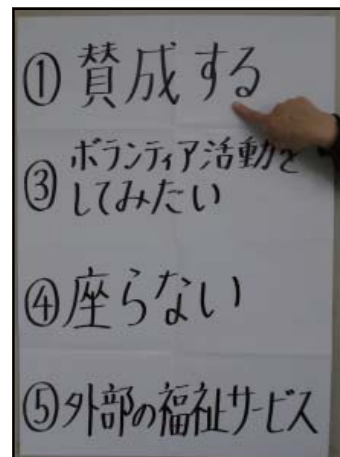
6 資料をもとに、高齢者の気持ちや人権について考えます。

7 活動のふりかえりをします。

あなたのジャッジは？

おしゃべりの種カード I

① あなたには、昔から旅慣れた75歳の母がいます。5年ぶりにエジプトへ一人旅に出かけると言っています。あなたは、賛成する？反対する？ 	② 同居する75歳の義理の父は、若者が着るような服が大好きで、近所でも「派手なおじいちゃん」で有名です。中学生になる孫が「恥ずかしいから、年相応の服を着て欲しい。」と、あなたに訴えます。あなたは、孫の訴えをおじいちゃんに伝えますか？伝えませんか？ 
③ あなたは、60歳で定年退職となりました。これからは、地域のためにボランティア活動してみたい？したくない？ 	④ あなたは、72歳です。バスに乗ると座席がいっぱいでした。部活の疲れからか、高校生がぐったりと座っていました。あなたを見ると、立ち上がりて席を譲ってくれました。譲られた席に座る？座らない？ 
⑤ あなたが高齢者になって介護が必要になったとき、介護してもらいたいのは身内(身内だったら誰?)？それとも、外部の福祉サービス？ 	⑥ あなたが年老いて一人暮らしになったとき、住み慣れたところに残る？面倒みてくれる家族のところへ行く？ 



<結果を模造紙にまとめたもの>



ファシリテーターの言葉かけ例



展開1 これから、高齢者に関するテーマについて、いろいろ話し合っていきます。（カードを配付する。）今、配付したカードに書かれているテーマについて、話し合います。カードは、裏返しにして机の中央に並べてください。

展開2 まず、司会者を決めてください。司会者といっても、ずっとその方が司会を続けるわけではないので、安心してください。司会者になった方は、裏返しに並べてあるカードの中から1枚選び、そのカードに書かれている文を読み上げてください。


展開3 読み上げられた事柄について、司会者以外の人たちは、自分がどちらを選択するか考えてみましょう。（少し時間をとる。）では、順番にお一人ずつどちらを選択するか、また、どうしてそちらを選択したのか理由をお話してください。全員が発表し終わったら、自由に意見を交換してみましょう。そして、最終的に、グループの意見を参考にしながら、自分の考えを踏まえ、司会者がどちらを選択するか決定します。

展開4 1枚目のカードが終わりましたか。では、時計回りで司会者を交代します。次の司会者が2枚目のカードを引き、カードに書かれている文を読み上げ、1枚目のカードと同様に話し合います。2枚目のカードについて司会者の答えが決まったら、司会者を交代して、同じことを繰り返します。カードがなくなるまで同じことを繰り返してください。この後、グループごとに発表をしてもらいますので、話し合った結果を模造紙にまとめておいてください。（活動終了の目安の時間を伝える。）では、グループごとに結果を発表してもらいます。模造紙にまとめた結果をもとに発表してください。結果はもちろんです、その結果に至るまでどのような意見が出たか、どのような意見に分かれたか等、いろいろお話しください。（1グループずつ発表。発表の時間は5分以内。）

展開5 他のグループの発表をもとに、気付いたことや感じたこと（同じ意見だったカードや違う意見だったカードについて）をグループで話し合ってみましょう。（10分ぐらい）では、どのような意見が出ていたか発表してください。（2～3グループに発表してもらおう。）同じテーマでも、人によって様々な考えがあることが分かりますね。それぞれの意見を尊重することが大切です。

展開6 さて、ここで高齢者に関する資料を用意しましたので、見てください。資料1は高齢者の気持ちについてです。（高齢者の気持ちについて実態に触れる。）次の資料は「高齢者のための国連原則」（P44参考資料：資料3の説明）です。5つ領域と18の原則からなり、高齢者の地位、ひいては、高齢者の人権についての基準を設定したもので、1991年の国連総会で決議、採択されました。後の国際高齢者年など、国際的な取り組みが進められる基礎となったものです。（内容について触れる。）

展開7 最後に活動のふりかえりをしましょう。今日は、高齢者に関するテーマで話し合いました。国の人口推計によると、平成25年9月の時点で、総人口に占める65歳以上の割合は、25%で既に4人に1人が高齢者です。平成47年には、3人に1人が高齢者になると予測されています。私たちも、いずれは高齢者になります。高齢者の気持ちは、高齢者になってみないと分からないかもしれませんが、今日の活動で様々な意見を聞くことにより、高齢者の生きがいや幸せ、家族の在り方について、新たな気付きがあったのではないのでしょうか。さて、今日の活動での気付きやこれからの生活で生かしていきたいことについて、グループで感想や意見を話し合ってみましょう。（時間があれば何人かに発表してもらおう。）これからの超高齢社会の中で、私たちは、高齢者が生き生きと安心して生活することができるよう、みんなで考え、実践していくことが求められています。今日の気付きを、これからの生活の中に生かしていけると素晴らしいですね。

ワークシート等はホームページを  Check!

栃木 人権資料

検索



1

2

3

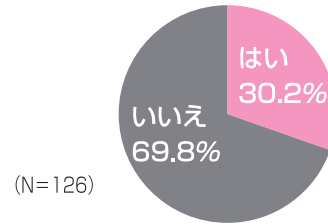
様々な世代を
対象にした
アクティビティ

参考資料

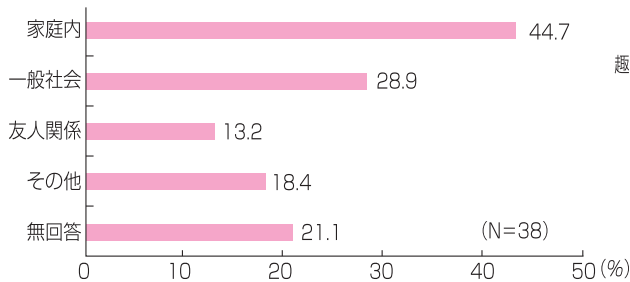
資料 1

約3割のお年寄りが 寂しい… 思いを経験

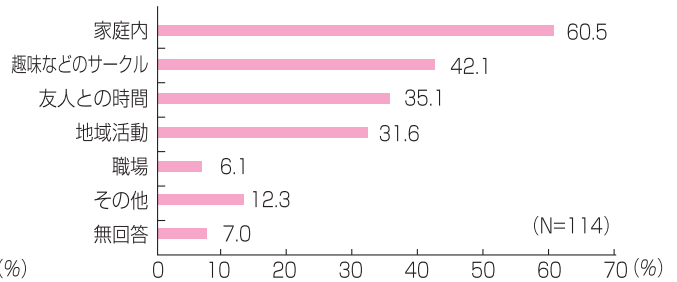
Q 日常生活で疎外感や孤独感を感じたことがありますか？



Q 疎外感や孤独感を感じたのは、どんな状況においてですか？



Q 自分が心から安らげる「居場所」とは？



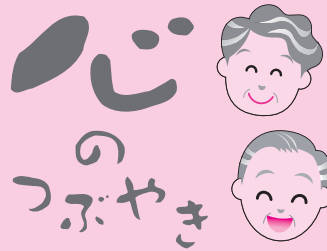
平成16年8月（財）兵庫県人権啓発協会実施「高齢者アンケート調査結果」より抜粋

「死」について考えると不安

自分の体が年々弱っていくと実感しています。「どんな死に方をするんだろうか」とか、「自分の体や寿命についての不安はありますね。ある程度の年になると、皆さん口にはしないけれども、それぞれ心の中で思うことではないでしょうか。」

日本の福祉もまだまだ充実していないし、安心して歳をとれない…という不安もあります。

(70歳/女性)



意見しても「余計なもの」扱い

私は寄り合いや会合によく出席することがあるんですけど、そこでちょっと意見を言うとね、「なんやこのおっさん、年寄りがいらん事言うな」というような空気が流れますね。

自宅で長年子どもらに書道を教えていますけど、「先生の子どもの頃はな…」と話をすると、ここでも「それは昔のこと、僕らには関係ない」という態度。どうも、年配者の意見を聞いたり、その意見を話し合いの中で生かそうというのがありませんな。

私が子どもの頃は、年寄りの話は「なるほど…」と真摯な態度で聞いたもんやけどね。

(78歳/男性)

孤立の果てに施設に入った姉

85歳になる姉の事ですが、姉の娘家族と同居していたんです。10年前から同居で、姉が購入した家で暮らしていました。それが、当初より娘婿と折り合いが悪いらしく「ひと言も口をきいてくれない」「夕食を作っても食わずに、外食に出かけていく」などが続き、長年家庭の中で孤立していたようです。そして、自ら老人福祉施設へ入所を希望し、家を出てしまいました。娘夫婦は、姉の家に住んでいますよ。やりきれないですね。

(80歳/男性)

話相手になってほしい

家事援助の介護ヘルパーさんに来てもらっているけれど、いつも家事をしてもらうだけで時間いっぱいになってしまって。私としてはもっとヘルパーさんと世間話をしたいんだけどね。家事はせんでもいいから、話を聞いてほしい…。だけど、家事援助で来てるから、きっちり仕事してくれるからね、しゃべる時間がないの。部屋はグチャグチャでもいいから、その分、話をしたいわ。

(80歳/女性)

シルバーシートに思うこと

他の席と区別されたカラフルなシルバーシートに座ることに、抵抗を感じる高齢者もいるんです。あえてそういう席を設けなくても、どこでも席を譲り合えるような、心から人を思いやるような世の中になったらいいんですけどね。

(83歳/女性)

※当協会からの電話聴取結果より

出典:兵庫県教育委員会「地域における人権教育の推進をめざして ライフステージに応じた参加体験型学習実践事例集」

「I 高齢者の人権 14 高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり」より「資料 1」(平成 19 年 3 月)